

## あとがき

東京都地域結集型研究開発プログラムは、平成 18 年 12 月から「都市の安全・安心を支える環境浄化技術の開発」をテーマに、東京の課題である「都市環境の改善」と「都市型産業の創出による産業力の強化」を目的に研究開発を実施しました。

本プログラム推進のため、全部で 7 大学 9 研究室、2 研究機関、1 組合、14 企業（NPO 法人 1 含む）が参画し、積極的な産学公連携のもと事業を推進しました。とりわけ、代表研究者である東京大学堂面一成教授、テーマ別リーダーである東京医科歯科大学三林浩二教授、東京大学柳沢幸雄教授には、的確な研究開発の舵取りを行っていただきました。また、参画研究者の皆様にはテーマの主旨をよく理解していただき、最終的には製品化、事業化につながる研究であるという意識をもって研究にあたってくださいました。

さて、5 年間の事業期間が終了しましたが、企業化統括として多くの研究開発成果が得られたと確信しております。また、実用化、製品化に関しても既に 11 件の成果を得るとともに、本プログラム外の他事業への成果展開も 12 件ののぼり、着実に成果展開を進めているところであります。今後、フェーズⅢでさらなる実用化、製品化を東京都ならびに東京都立産業技術研究センターが中心になり積極的に推進してまいります。関係機関のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

本プログラムの研究推進にあたっては、本プログラムで雇用した雇用研究員 15 名と参画機関の共同研究員 77 名で実施しました。このうち、雇用研究員は 15 名中 12 名が事業期間内に研究機関あるいは民間企業への就職を果たした事は特筆すべきことです。間接的ではありますが研究成果のレベルの高さを反映していると推察できます。また、各機関の共同研究者の皆様も本務がありながら、時間を割いて多くの貢献をいただきましたこと深く感謝申し上げます。

最後に、本プログラムの実施にあたり、ご指導、ご支援をいただきました（独）科学技術振興機構、ならびに東京都の関係者の皆様に深く御礼申し上げまして、企業化統括の結びの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

企業化統括 片岡正俊 （東京都立産業技術研究センター理事長）